



BUSINESS REPORT

第206期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

株主の皆様へ

P.1

CLOSE-UP

**株主優待乗車証の
発行基準を一部変更し、
優待内容を拡充いたします！**

(2026年6月以降発送分より)

P.3

株主様向けイベントの報告

P.5

連結決算の概要

P.6





東武グループの 概況について ご説明いたします。

取締役会長

根津 嘉澄



取締役社長

都筑 豊

Q 当中間期の業績について教えてください

A 株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当中間期のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の拡大などを背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の通商政策の動向や物価上昇の継続による消費者マインドの悪化など、個人消費に及ぼす影響などを注視する必要があります。

当社グループにおきましては、持続的な成長に向けて、「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」を長期経営ビジョンに定め、「人にやさしく 人と

地域が共に輝きつづける社会」の実現に向けて、さらなる取組みを進めてまいります。

当中間期の連結業績は、営業収益は3,107億53百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は355億84百万円（前年同期比7.5%減）、経常利益は337億26百万円（前年同期比9.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は240億22百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

▶ 詳細は P6 連結決算の概要 をご覧ください

Q 配当について教えてください

A 当社は、長期にわたる経営基盤の拡充のため、財務健全性に配慮しつつ、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定的な

配当を実施することを基本方針としております。
当期の中間配当につきましては、1株あたり32円50銭に決定させていただきました。

Q 今後の取組みについて教えてください

A 当社グループは、長期経営ビジョン「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」の実現に向けて、「営業利益段階における非鉄道事業割合の増加」、「観光需要を捉えた収益力強化」、「持続的な事業運営体制の確立」の3つを経営戦略方針として掲げ、重点戦略として「成長をけん引する事業の確立」、「事業基盤（沿線）の継続的な強化」、「事業領域拡張を見据えた新規事業の育成」及び「環境負荷の低減と人的資本の強化」の4項目を掲げております。

今後の外部環境として、旺盛なインバウンド需要は継続すると想定するものの、物価・人件費・金利等の上昇や労働力不足の拡大が見込まれます。こうした環境下においても、当社グループは、成長領域として定めた観光事業、まちづくり

等のプロジェクトの本格化や、東武スカイツリーラインと東京メトロ有楽町線との新たな相互直通運転実施等、大型プロジェクトを順調に進捗させることを通じて、さらなる成長が可能であると考えており、足元の収益性や大型プロジェクトの完成時期の見通し等を踏まえ、長期経営ビジョンの目標について、時期を変更したうえで、目標数値を引き上げ、「2030年代半ばに営業利益1,000億円以上を目指す」といたしました。

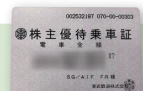
これからも、沿線の特長や経営資源を活かしながら、社会課題の解決を通じて、将来にわたって新たな価値を創造し、「人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会」を実現することで、社会に不可欠な企業集団として存続してまいります。

株主優待乗車証の発行基準を一部変更し、 優待内容を拡充いたします！

株主様の日頃のご厚情に感謝するとともに、当社株式を長期間にわたり保有していただけるよう、
2026年6月以降(次回以降)発送分より適用いたします。

株主優待乗車証

株式数	種類	発行枚数	
		9月末(基準日)	3月末(基準日)
100株以上 200株未満	回数券 ^{※1}	—	2枚
200株以上 400株未満	回数券	2枚	2枚
NEW! 400株以上 600株未満	回数券	4枚	4枚
600株以上 1,000株未満	回数券	6枚	6枚
1,000株以上 2,000株未満	回数券	10枚	10枚
2,000株以上 3,000株未満	回数券	20枚	20枚
3,000株以上 4,000株未満	回数券	30枚	30枚
4,000株以上 5,000株未満	回数券	40枚	40枚
5,000株以上 5,800株未満	回数券	50枚	50枚
5,800株以上 11,600株未満	定期券 ^{※2}	1枚	1枚
11,600株以上	定期券	1枚	1枚
	回数券	50枚	50枚



600株以上を
3年間以上
継続して保有
いただいている
株主様へ
のご優待
(半年につき)

2 NEW!
回数券 2枚^{※3}

回数券 4枚^{※3}

回数券 10枚^{※3}

◆ 今回変更のポイント

1 発行区分の新設・発行枚数の増加

400株以上600株未満の発行区分を
新設し、発行枚数を4枚に増やします。

2 長期保有優待区分の 拡大

600株以上1,000株未満の株式を
3年間以上継続してお持ちの株主様
へ、新たに長期保有優待を発行いた
します。
保有期間の判定は、2026年3月31
日基準日から過去に遡って行います。

当社では、株主様により便利でより利用しやすい
株主優待を目指し、引き続き株主優待制度の
拡充を検討してまいります。ぜひ株主様の貴重な
ご意見をお寄せください。

……株主優待制度に関する
アンケートはこちら▶



※1 1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証(回数券式)
※2 電車全線優待乗車証(定期券式)

※3 当社の株主名簿において、過去3年間の全ての基準日(当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日))に600株以上の株式を継続して保有し、株主番号が継続して同一である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

株主ご優待券

東武グループ各施設等
ご利用いただけます。(一例)

株式数	発行数	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)
100株以上 200株未満	—	1冊
200株以上	1冊	1冊



無料 東武動物公園

発行枚数
(半年につき)

入園料
無料 ▶ 3枚

アトラクションパスの割引
1名様につき **500円割引** ▶ 3枚



割引 東武藤が丘カントリー倶楽部
皇の宮カントリー倶楽部
宮の森カントリー倶楽部

発行枚数
(半年につき)

プレー料金の割引 1名様につき
予約カレンダー料金の**5%割引** ▶ 2枚



無料 東武博物館

発行枚数
(半年につき)

入館料
無料 ▶ 5枚

※ 株主ご優待券の有効期限につきましては、原則、6月発行分(資格確定3月31日)は12月末まで、12月発行分(資格確定9月30日)は翌年6月末までです。
※ 株主ご優待券のご利用にあたりましては、お手元の株主ご優待券の記載事項をご確認ください。

2026年3月にお陰様で開園45周年を迎えます。また、動物園では「ジャガー&ヒョウ展示場」の
リニューアルに加え、遊園地では新アトラクション「ドリフター(仮)」がオープンします。

2026年3月
リニューアルオープン



新アトラクション「ドリフター(仮)」
ドイツZIERER社の最新機種が日本初導入。“ドリフ
ト”するようなスリルと臨場感を味わえます。

「ジャガー&ヒョウ展示場」

2階建ての観覧エリアが新設され、木登りや獲物を狙うといった野生本来の行動を、より間近で観察できます。また、夜間のキャットワールドはライティングやスモーク演出により、動物の生息地への没入感を体験でき、昼間とは違った雰囲気を楽しめる空間になります。





株主様向けイベントの報告

事業内容へのご理解を一層深めていただくため、2025年8月1日(金)、南栗橋車両管区にて株主様向けイベントを実施し、株主様及び同伴者様に参加いただきました。

参加者様のご意見・ご感想(抜粋)

電車が洗われているところは、迫力があって楽しかったです。

暑い中、点検、修理作業に打ち込む姿に感動しました。

普段見ることのできない点検や清掃を見ることができて、とても勉強になり、有意義な時間でした。



概要説明の様子



洗浄機通過体験の様子

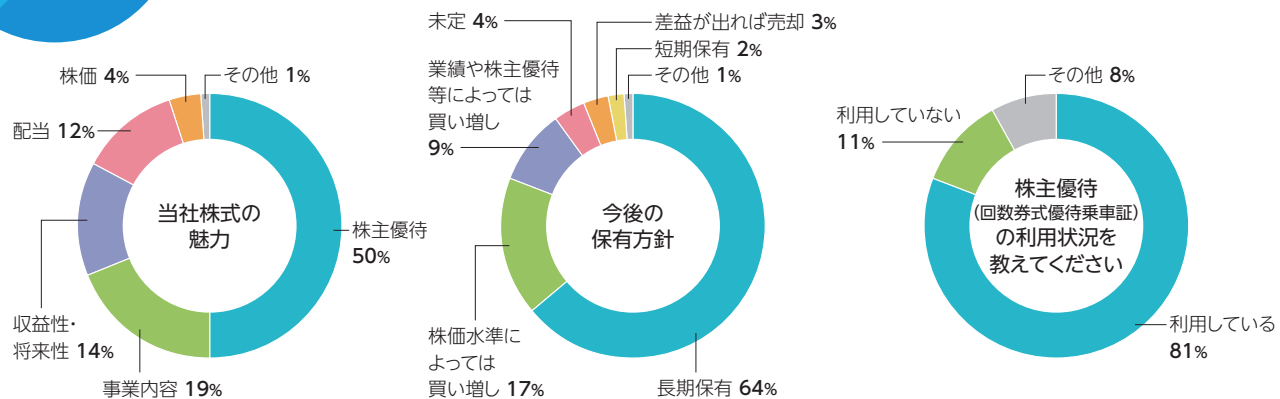


南栗橋工場見学中の株主様



株主様アンケート結果報告

株主様向けイベント応募の際、多くの株主様(1,674名)からアンケートに協力いただきました。誠にありがとうございました。ここでは、その一部を紹介いたします。株主様からの貴重なご意見・ご感想を活かし、今後の株主様向け施策等の更なる充実に努めてまいります。



連結決算の概要

2025年度第2四半期(中間期) 決算のポイント

運輸事業

鉄道業におきまして、通勤利用の回復や平日の定期外利用の増加により、定期・定期外ともに輸送人員が増加いたしました。これにより、営業収益は1,094億2百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は処遇改善による人件費の増加や修繕費用の増加等により、159億97百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

レジャー事業

旅行業におきまして、旅行取扱高は増加したものの、自治体等の経済対策事業の縮減等により受託収入が減少いたしました。一方、ホテル業では、継続して旺盛なインバウンド需要を捉え、都内ホテルで稼働率を確保するとともに高単価販売を継続いたしました。さらに、スカイツリー業では、前年実施した料金改定の通年寄与に加えてインバウンド入場者数が増加いたしました。これにより、営業収益は836億28百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は79億86百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

不動産事業

不動産賃貸業におきまして、本年3月にオープンした「ソライエアイルときわ台」をはじめとした賃貸マンションが増収に寄与いたしました。スカイツリータウン業では、インバウンド等により客単価が上昇いたしました。また、不動産分譲業では、販売用不動産の売却や戸建の引渡戸数が増加したものの、分譲原価が増加いたしました。これにより、営業収益は266億35百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は72億59百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

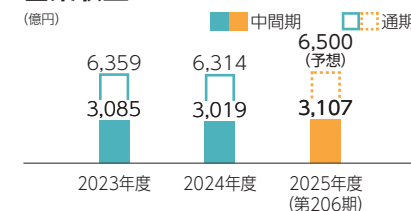
流通事業

百貨店業におきまして、近隣競合環境の変化による来店客増の継続に加えて、食品売場のリニューアル等により増収となりました。また、ストア業では昨年オープンした竹ノ塚店やリニューアルした前野町店が増収に寄与いたしました。一方、流通その他業では、新しい東武カードを本年5月から発行開始したことに伴い費用が増加いたしました。これにより、営業収益は866億29百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は30億8百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

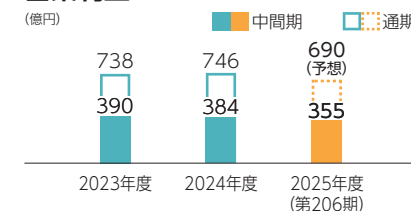
その他事業

完成工事減による減収により、営業収益は382億30百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は21億12百万円(前年同期比24.7%減)となりました。

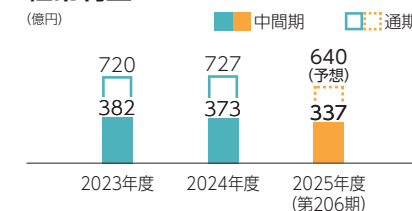
営業収益



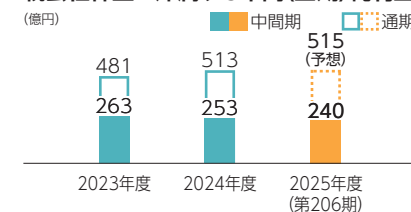
営業利益



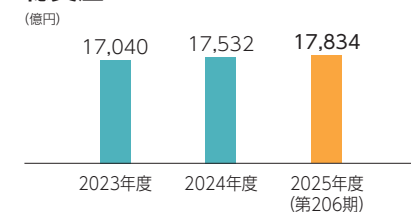
経常利益



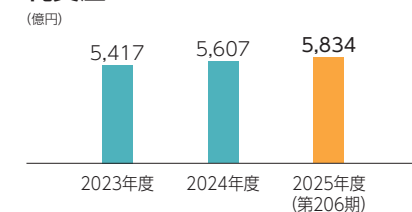
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



総資産



純資産



詳細はこちら▶





会社概要 (2025年9月30日現在)

商 号	東武鉄道株式会社	発行可能株式総数	4億株
設立年月日	1897年11月1日	発行済株式の総数	2億121万5,421株
本店所在地	東京都墨田区 押上一丁目1番2号	株 主 数	8万3,768名
資 本 金	1,021億3,597万1,747円	事 業 内 容	① 鉄道事業 ② 不動産事業 ③ その他の事業
従 業 員 数	3,237名		

各種手続きのお問合せ先

- 住所変更、相続
- 配当金受取方法の変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

証券口座にて
株式を管理されている株主様

▶ お取引のある証券会社等

証券会社との
お取引がない株主様

▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)
TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)

お知らせ

東武グループ 統合報告書2025を発行

株主様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様に、東武グループについて深く理解いただきたく発行いたしました。



柴田光義社外取締役のインタビューも掲載しています。
ぜひご覧ください。



詳細はこちら ▶

東武鉄道 株式会社

〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号

※「東京スカイツリー」及び「東京スカイツリータウン」は、東武鉄道㈱及び東武タワースカイツリー㈱の登録商標です。また、「東京ソラマチ」は東武鉄道㈱の登録商標です。



この印刷物は、視認性が高く読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
また、FSC®森林認証紙を用いて「森林資源の保全」に、植物油インキを用いて「大気保全」に配慮しています。くわえて印刷に使用した電力(1,579kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄うとともに、環境に配慮した資材と工場で印刷しています。なお、印刷用の紙に再生できますので、不要になった際は古紙回収・リサイクルにお出ください。